

中国自然歩道

湯の川峯寺コース



木次桜トンネル

いなかの道を、リュックでもかついでのんびりと歩いていると、思わぬところで清らかな小川や、名も知らないかわいい花に出会うことがあります。また、道ばたにぽつんと立っている朽ちかけた道標が、その地方の歴史を語りかけてくれる時があります。こんな忘れられそうなふるさとの美しい自然や文化的遺産を、中国5県が協力して一本の歩道で結んでいます。それが中国自然歩道です。この自然歩道の延長は、中国5県で約1,900km、県内でも約537kmという長いものです。このような長い自然歩道のうち、県内でも特にみどころの多いコースをモデルコースとして紹介します。

さあ、美しい自然やふるさとの歴史を求めて、自然歩道にとび出しましょう。

島根県

コースの概要

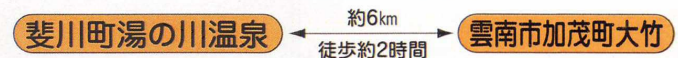
湯の川峯寺コースは、斐川町の湯の川温泉から光明寺、長谷寺、峯寺などの出雲札所を巡り、さらに斐川沿いの谷あいにある湯村温泉に至るルートです。

この地方は、ヤマタノオロチ伝説などで知られる奥出雲地方の一部で、神話のふるさととしても知られています。

モデルコースとなっている湯の川温泉～加茂町大竹間は、光明寺への登山コースとなっており、格好のハイキング地です。

《モデルコース》

光明寺コース



●湯の川温泉

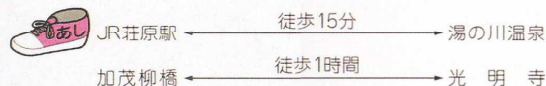
低い丘陵に囲まれた田園地帯にある日本三大美容温泉の一つ。因幡の八上比売やがひのめが発見したと伝えられ、尼子・毛利の合戦の折には、尼子方将兵の傷をいやしたといわれる。泉質は単純泉で、多量のほう酸を含み、皮ふ病、神経痛などに効能がある。

●光明寺

大嶽山の標高280m地点にある曹洞宗の古刹で、出雲観音霊場第7番札所である。寺宝に、南北朝時代に朝鮮よりもたらされた銅鐘があり、国の重要文化財に指定されている。また、庭からの眺望にすくぬ、特に朝の雲海はすばらしい。



光明寺コースから斐伊川を望む



(その他の見どころ)

●神原神社古墳

神原神社の境内から発掘された竪穴式古墳で、その副葬品の中に、全国で2枚目といわれる景初3年銘の銅鏡が発見された。

●長谷寺

出雲観音霊場第8番札所であり、本尊の十一面観音尊像は、琵琶湖の浮木をもって刻まれ、ここと大和及び鎌倉の長谷寺に安置されたといわれる。また、昔から子安の観音として知られている。

●木次桜トンネル

斐川に沿って2kmにわたり、その数約3000本といわれるソメイヨシノなどの桜が植えられている。春ともなれば、中国地方随一の桜の名所として多くの観光客で賑う。



長谷寺

●峯寺

通称峯寺と呼んでいるが、中嶺山阿含院普光寺が正式な山号で、出雲観音霊場第9番札所である。行基が刻んだといわれ、国の重要文化財にも指定されている聖観世音を本尊として安置している。書院から見る庭園は優雅で、閑寂な山寺の雰囲気味わえる。

●健康の森

国道314号の木次町吉井から、林道を約4km登った高台にある総合リクリエーション施設で、スポーツ広場、キャンプ場、コテージなどが整備されている。



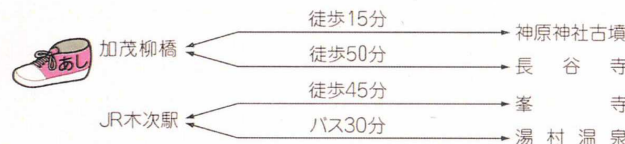
峯寺

●湯村温泉

木次町の中心街から、斐伊川に沿って約10km上流に上った地点にある、木次町と吉田町にまたがる山峡のいで湯。「出雲風土記」に川辺の薬湯として登場する歴史の古い温泉で、昔そのままの共同浴場がある。泉質は単純泉で、皮ふ病、胃腸病、神経痛などに効能がある。



湯村温泉



自然を大切に ゴミは持ち帰りましょう

自然歩道はみんなの歩道です。ルールを守って利用してください。

1. コースについてはあらかじめ距離・時間・交通機関などについて十分検討し、余裕のあるスケジュールをたてましょう。
2. 天気予報には十分注意し、天候が悪くなったら、予定を変更したり中止する勇気を持ちましょう。
3. 歩行中は禁煙です。たばこは必ず喫煙所で吸いましょう。
4. 動植物を傷つけないようにしましょう。
5. ゴミは持ち帰るようにしましょう。

お問い合わせは

島根県環境生活部自然環境課
〒690 松江市殿町1番地 ☎(0852)22-5348